

中川洋一郎教授略歴及び業績目録

生年月日

1950年5月12日 東京生まれ

学歴

1966年4月入学 1969年3月 東京都立戸山高等学校卒業
1969年4月入学 1974年3月 東京外国語大学外国語学部フランス語学科卒業
1974年4月入学 1976年3月 東京大学大学院社会学研究科国際関係論専門課程修士課程修了
1978年10月入学 1981年12月 パリ（I）大学大学院社会経済史研究所博士課程修了
1976年4月入学 1983年3月 東京大学大学院社会学研究科国際関係論専攻博士課程単位取得退学

学位

1976年3月取得 国際学修士

〈取得大学〉 東京大学

〈論文題目〉 クレディ・モビリエ（1852-1867）—フランス第二帝政下の国際的投資銀行

1981年12月取得 経済史学博士 (Docteur de 3^e cycle en histoire économique)

〈取得大学〉 Université de Paris I - Panthéon-Sorbonne

〈論文題目〉 *La circulation monétaire dans les départements français des années 1870 à 1914*

〈分野〉 フランス近現代経済史

職 歴

1983年4月～1986年3月 中央大学経済学部助手
 1986年4月～1994年3月 中央大学経済学部助教授
 1994年4月～現在に至る 中央大学経済学部教授
 2005年11月～2009年3月 中央大学入学センター所長
 2008年12月～2009年12月 中央大学副学長

(非常勤講師)

1985年4月～1988年3月 東京大学教養学部教養学科
 1988年3月 名古屋大学大学院経済学研究科 (集中講義)
 1995年4月～1997年3月 東京外国語大学外国語学部
 1996年4月～1998年3月 東京大学文学部
 1996年4月～1999年3月 成城大学経済学部
 2011年4月～2016年3月 東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部

学会および社会における活動

1978年～現在に至る 土地制度史学会 (1991年～1993年 編集委員会委員)
 1978年～現在に至る 社会経済史学会
 1985年～現在に至る フランス歴史学会 (1991年～1993年, 1998年～2004年 幹事)
 1992年～現在に至る フランス経営学会
 1995年～現在に至る GERPISA (国際自動車研究学会)
 1996年～現在に至る 中小企業学会

業 績¹⁾

I 著作

1. 単著

- ①『新ヨーロッパ経済史Ⅱ—資本・市場・石炭—』学文社, 2017年10月.
- ②『新ヨーロッパ経済史Ⅰ—牧夫・イヌ・ヒツジ—』学文社, 2017年9月.
- ③『ヨーロッパ経済史Ⅱ—資本・市場・石炭—』学文社, 2012年11月.
- ④『ヨーロッパ経済史Ⅰ—ムギ・ヒツジ・奴隷—』学文社, 2011年9月.
- ⑤『暴力なき社会主義?—フランス第二帝政下のクレディ・モビリエ—』学文社, 2004年6月.
- ⑥『ヨーロッパ《普遍》文明の世界制覇—鉄砲と十字架—』学文社, 2003年4月.
- ⑦『ヨーロッパ物質文明の世界制覇と日本』中央大学生協同組合出版局, 2000年4月.
- ⑧『フランス金融史研究—《成長金融》の欠如—』中央大学出版部, 1994年1月.
- ⑨ *La circulation monétaire dans les départements français des années 1870 à 1914*. Thèse de 3^e cycle en histoire économique (Université de Paris I - Panthéon-Sorbonne), décembre 1981.

2. 共編著

- ⑩「金型産業における技術革新の一断面—高速加工実現へ向けての異種企業間の協力—」池田正孝・中川洋一郎(編)『環境激変に立ち向かう日本自動車産業—グローバルゼーションさなかのカスタマー・サプライヤー関係—』中央大学出版部, 215-248, 2005年5月.

3. 分担執筆

- ⑪「深層現調化に見る『ヒトとサプライヤーの育成』」清响一郎・具承桓(編)『日本自動車産業の海外生産における深層現調化とグローバル調達—リーマンショック後の新興諸国でのサプライヤーシステム調査結果分析—』社会評論社, 369-393, 2017年3月.
- ⑫「フル・コスト原則と《耐久消費財のディレンマ》—《コストダウン》の経済史上の含意—」中央大学経済学部創立100周年記念事業委員会(編)『中央大学経済学部創立100周年記念論文集』中央大学出版部, 279-296, 2005年10月.
- ⑬「フランス自動車産業における放漫経営から健全経営への移行—1983年ブジョー・リストラ宣言から1985年ルノー・ルマン工場スト敗北にいたるリストラ過程—」佐藤清(編)『フランス

1) 丸数字(例えば, ①)は, 文献番号である. 後述の「少年老い易く学成り難し」において, 文献参照の便宜のために, I 著作・II 論文について, 最近年のものから順に付けられている.

「経済・社会・文化の位相」中央大学経済研究所, 113-153, 2005年7月.

- ⑭ A Flexible Organization for Mini-Lot Production: The Emergence of Mini Carmakers in Japan. Co-author : Masayoshi IKEDA, In : Takahiro FUJIMOTO and Daniel RAFF (eds.) *Coping with Variety. Flexible productive systems for product variety in the auto industry*, Ashgate Publishing Company Ltd. Aldershot. 181-191, April 1999.
- ⑮ 「フランスの工業化」経欧史学会(編)『世界史に見る工業化の展開—二重性—』学文社, 122-143, 1999年4月.
- ⑯ 『経営環境変化に対する中小企業の経営戦略に関する調査研究報告書—親企業と系列企業との取引関係が変化する中での工業集積地域等における中小企業のネットワーク—』(財)中小企業総合研究機構, 1998年2月.
- ⑰ 「フランス機械工業における下請けシステムの特徴」中央大学経済研究所(編)『構造転換下のフランス自動車産業—管理方式の「ジャパナイゼーション」—』中央大学出版部, 151-185, 1994年4月.
- ⑱ 「季節信用は中期信用か?—第二次大戦前におけるフランス銀行の産業金融」広田功・奥田央・大沢真理(編)『転換期の国家・資本・労働—両大戦間期の比較史的研究—』東京大学出版会, 223-248, 1988年4月.
- ⑲ 「20世紀初頭のフランスにおける『金融的地域主義』—地域銀行の形成: その意義と限界—」中央大学経済研究所(編)『歴史における社会と文化』中央大学出版部, 115-152, 1987年9月.
- ⑳ 「第一次大戦前のフランスにおける通貨・信用の季節変動—大預金銀行の全国的支店網の形成とフランス銀行の機能変化—」中央大学100周年記念論文集経済学部編集委員会(編)『中央大学100周年記念論文集 経済学部』中央大学, 439-461, 1985年4月.
- ㉑ 「クレディ・モビリエの展開」岡田与好(編)『十九世紀の諸改革』木鐸社, 139-197, 1979年4月.

4. 共訳書

- ㉒ ムハメッド・メラーフ(著)『ECとマグレブ諸国の経済関係』(宮治一雄・清水卓・福田邦夫・中川洋一郎共訳), アジア経済研究所 1979年4月.

II 論文

1. 学術論文(単著)

- ㉓ The Trinity and the Three-Tiered Structure in Proto-Indo-European Organizations: Consequences of Assigning Dogs the Role of Mediators. *The Journal of Economics* (Chuo University, Tokyo), 61 (3・4): 65-94, January 2021.

- ②4 「キリスト教・三位一体論の遊牧民的起源—イヌの《仲介者》化によるセム系—神教からの決別—」『経済学論纂（中央大学）』60（5・6）：431-461, 2020年3月.
- ②5 「遊牧開始という，組織編成原理史上の分水嶺—前4千年紀，疑似親族原理から機能本位原理へ—」『経済学論纂（中央大学）』60（3・4）：115-149, 2020年1月.
- ②6 「ジャン・ボダン主権概念の遊牧民的起源—前4千年紀，遊牧三階層における権力構造とその後の主権概念の展開—」『経済学論纂（中央大学）』60（1）：195-226, 2019年7月.
- ②7 「前4千年紀，遊牧民としての原インド・ヨーロッパ語族民の生成—狩猟採集民による農牧文化の習得とステップへの進出という起業家的行動—」『経済学論纂（中央大学）』59（5・6）：235-272, 2019年3月.
- ②8 「職務序列表の公示（1945年）によるフランス企業内三階層の『国定化』—アメリカ・フランスにおける労務管理論の展開—」『中央大学経済研究所年報』51：171-209, 2019年1月.
- ②9 「ジヨルジュ・デュメジル《三機能性》論，1950年の蹉跎—神話形成期（前4千年紀），原インド・ヨーロッパ語族民組織における社会的三階級の不在という難題—」『経済学論纂（中央大学）』59（3・4）：399-433, 2019年1月.
- ③0 「フランスの職務個体化と日本の職務共有化—1990年代初頭，現地日系メーカー日本人幹部による評価（2）—」『経済学論纂（中央大学）』58（5・6）：287-319, 2018年3月.
- ③1 「プラトン《魂の三分区》説とデュメジル《三分区イデオロギー》説—インド・ヨーロッパ語族民における歴史通貫的な統治原理—」『経済学論纂（中央大学）』58（3・4）：313-342, 2018年3月.
- ③2 「フランスにおける職務間の「隙間」—1990年代初頭，現地日系メーカー日本人幹部による評価—」『中央大学経済研究所年報』49：435-458, 2017年10月.
- ③3 「群居性草食動物家畜化の衝撃—輪廻転生観の破壊という，人類史上の分水嶺—」『経済学論纂（中央大学）』57（5・6）：257-284, 2017年3月.
- ③4 「地球環境の悪化とユダヤ・キリスト教の人間中心主義—文明の（だが，同時に環境破壊の）起源としての遊牧—」『経済学論纂（中央大学）』57（3・4）：333-362, 2017年3月.
- ③5 「日本型組織編成原理の発現としての深層現調化—途上国における日系自動車産業によるヒトとサプライヤーの育成（報告要旨）」『日本中小企業学会論集』35：215-218, 2016年7月.
- ③6 「金型づくりにおける情報化技術の発展と日本の金型メーカー—新興諸国メーカーの急激なキャッチアップと日本の逡巡—」『中央大学経済研究所年報』42：331-347, 2011年9月.
- ③7 「長期波動のピーク越え（1981年頃）と《大規模大量生産》—フランス自動車産業のジャパナイゼーション（6）—」『経済学論纂（中央大学）』46（3・4）：345-364, 2006年3月.
- ③8 Globalization of the Japanese Automobile Industry and Reorganization of Keiretsu-Suppliers. *Actes du GERPISA*, 3（3）：29-40, March 2002.

- ③⑨ 「ブジョーの経営転換（1983年）にみる国家の役割—フランス自動車産業のジャパナイゼーション（5）—」『経済学論纂（中央大学）』41（6）：189-215, 2001年4月.
- ④⑩ Trends in production and product development in the Japanese automotive industry, *International Journal of Automotive Technology and Management*. 1（1）：53-60, April 2001.
- ④⑪ 「中小機械工業における多品種少量生産の実態：1990年代後半の日本におけるジャスト・イン・タイム方式の浸透」『経済学論纂（中央大学）』41（5）：185-209, 2001年3月.
- ④⑫ 「フランスにおける日本型生産システムの受容と拒絶—フランス自動車産業のジャパナイゼーション（4）—」『経済学論纂（中央大学）』40（5・6）：405-434, 2000年3月.
- ④⑬ 「自動車部品産業の技術革新—高速加工機の出現による金型工法の革新（特集 自動車と自動車部品産業）」『自動車工業』33（391）：15-19, 1999年8月.
- ④⑭ 「転換（1984-85年）以降におけるフランス自動車部品メーカーの再編成—フランス自動車産業のジャパナイゼーション（3）—」『経済学論纂（中央大学）』39（6）：111-142, 1999年3月.
- ④⑮ 「自動車の大量生産における部品用金型の償却問題—日本・ヨーロッパ自動車産業の国際比較—」『経済学論纂（中央大学）』38（3・4）：199-224, 1998年3月.
- ④⑯ 「1980年代、ルノーにおける事業多角化から本業回帰への転換—フランス自動車産業のジャパナイゼーション（2）—」『経済学論纂（中央大学）』38（1・2）：401-418, 1997年7月.
- ④⑰ 「欧州自動車産業のジャパナイゼーション：受注生産から見込み生産へ」『通産研究レビュー』9：27-47, 1997年5月.
- ④⑱ 「下請取引における価値観の転倒（1984-1985年）—フランス自動車産業のジャパナイゼーション（1）—」『中央大学経済研究所年報』27：31-49, 1997年4月.
- ④⑲ 「フランスにおける中小企業の現状と産業政策」『国府台経済研究』8（2）：105-120, 1996年11月.
- ⑤⑰ 「1980~90年代における欧州自動車産業のジャパナイゼーション—受注生産の世界から見込み生産の世界へ—」*Discussion Paper*. #96-DOJ-73, 1996年4月.
- ⑤⑱ 「フランス進出日系メーカーの外注購買環境—現地の下請システムと《コミュニケーション部品》—」『中央大学経済研究所年報』26（1）：139-169, 1996年3月.
- ⑤⑳ 「フランスにおける中規模銀行（地銀）の欠落—1984年銀行法によるユニバーサル・バンキングの根拠と帰結—」『経済学論纂（中央大学）』36（4）：231-251, 1995年10月.
- ⑤㉑ 「スペック融合の発展段階—下請における注文生産のロジックから見込み生産のロジックへの進化—」『経済学論纂（中央大学）』36（3）：35-67, 1995年6月.
- ⑤㉒ 「フランス企業内組織における3階層間の断絶—労働伸縮性の欠如, その原因と結果—」『経済学論纂（中央大学）』36（1）：329-362, 1995年3月.
- ⑤㉓ 「下請の発展段階—フランス民生用機器製造業におけるサブアッセンブリー下請の欠如—」『中

中央大学経済研究所年報』25(2):173-199, 1995年3月.

- ⑤6 「日本のメイン・バンクとフランスのバンク = サプライヤー—『企業金融 = 下請取引』仮説の提示—」『経済学論纂 (中央大学)』35(5・6):339-370, 1995年2月.
- ⑤7 「職務重層性の発展段階—現地進出日系企業のフランス企業内組織に対するインパクト—」『経済学論纂 (中央大学)』35(4):315-350, 1994年12月.
- ⑤8 「分業における attribution の方向逆転 (人員配置から職務付与へ) —フランス社会の後進性と日本社会の先進性に関する覚え書き—」『経済学論纂 (中央大学)』34(5):303-326, 1994年2月.
- ⑤9 「両大戦間期フランスのクレディ・ナショナル《復興金融金庫》—国家介入による初の中・長期信用専門金融機関, その意義と限界—」『経済学論纂 (中央大学)』34(2):59-76, 1993年6月.
- ⑥0 「第1次大戦前フランスにおける中小企業の投資意欲—自己金融, 競争力欠如, 市場の狭隘性—」『中央大学経済研究所年報』23(2):151-170, 1993年3月.
- ⑥1 「第1次大戦前フランスにおける中小企業の長期資金調達—〈成長金融〉の欠如—」『中央大学経済研究所年報』23(2):77-107, 1993年3月.
- ⑥2 「日本における自動車開発支援型産業(3)—アメリカ人研究者の見た日本のプレス金型—」『経済学論纂 (中央大学)』33(3):127-140, 1992年7月.
- ⑥3 *Prototypes in the Automobile Industry: the Japanese System*. Research Paper: The Institute of Economics (Chuo University). (1), April 1992.
- ⑥4 「第一次大戦前におけるフランスの地方銀行—『局地銀行』: その機能と地理的分布—」『経済学論纂 (中央大学)』27(5):37-56, 1986年9月.
- ⑥5 「第一次大戦前におけるフランスの銀行構造—大預金銀行の全国的支店網の形成と地方銀行—」『土地制度史学』28(4):1-17, 1986年7月.
- ⑥6 「通貨の地理的循環—第一次大戦前夜のフランスの事例—」『社会経済史学』49(3):219-242, 1983年11月.
- ⑥7 「1870年代~1914年のフランスにおける通貨流通—景気循環および地域との関連において—」『土地制度史学』25(3):1-21, 1983年4月.
- ⑥8 「クレディ・モビリエの成立—金本位制への挑戦と『アソシアシオン』—」『思想』645:166-184, 1978年3月.

2. 書評・口頭発表原稿・事典 (項目執筆) ほか

- [書評] 「ミッシェル・マルゲラズ著『二〇世紀フランス資本主義史論—国家・経済・社会—』廣田功・権上康男訳, 日本経済評論社, 2004年刊」『史学雑誌』115(2):114-115, 2006年2月.
- [項目執筆] 「モジュール化戦略」林昇一・高橋宏幸 [編著]『戦略経営ハンドブック』中央経済

社, 354-361, 2003年5月.

[項目執筆] 西川正雄 (編著者代表) 『角川世界史事典』角川書店, 2001年10月.

[書評] 「矢後和彦著『フランスにおける公的金融と大衆貯蓄』」『社会経済史学』66(5): 592-593, 2001年1月.

[書評] 「権上康男著『フランス資本主義と中央銀行—フランス銀行近代化の歴史』」『土地制度史学』42(2): 66-68, 2000年1月.

Flexible Organization for Mini-Lot Production: Emergence of Mini Automakers in Japan.
Actes du GERPISA No.12 Positionnement sur le marché et flexibilité Productive. 61-70, avril 1994.

3. 一般向け論稿

「なぜ、『新卒一括採用』は、外国人には理解不可能なのか—それは、組織編成原理が真逆だからだ」『中央評論』66(2): 101-109, 2014年7月.

「『新卒一括採用』は、やがて消え去る慣行か—日本型雇用形態こそ原基的. むしろ、これからも残る—」『Chuo Online オピニオン』2014年7月22日, <https://yab.yomiuri.co.jp/adv/chuo/opinion/20140722.html>

「資本主義の多様性論は、負けたのか?」『Chuo Online 研究』2009年12月1日, <https://yab.yomiuri.co.jp/adv/chuo/research/20091201-2.html>

「フランス人の上司」『学員時報』(383) 3, 2000年2月.

「大学の先生は嘘をつく(?)」『中央評論』47(2): 80-82, 1995年.

「今こそ、メイン・バンクを生かすとき—「企業金融=下請け取引」仮説について—」『金融財政』(8823): 2-5, 1995年9月.

「人生のカウンターは節目節目でゼロに戻る」『草のみどり』85: 43, 1995年5月.

「パリ・東京 デイズニールランドの比較研究」『中央評論』45(4): 49-53, 1994年.

「すぐに役立つものはすぐに陳腐化する」『中央評論』43(1): 39-40, 1993年.

「アメリカ進出日系企業の『現場化』の諸問題」『中央評論』42(1): 69-75, 1992年.

「フランスの MIDEST (国際下請フェア) を訪ねて」『商工金融』46-47, 1992年1月.

III 研究発表・講演

1. 研究発表

「インド・ヨーロッパ語族拡大における Patron-Client Relationship の起源と歴史的射程」政治経済学・経済史学会秋季学術大会 (福島大学), 2015年10月.

「日本型組織編成原理の発現としての深層現調化—途上国における日系自動車産業のヒトとサブラ

- 「イヤーの育成—」日本中小企業学会第35回全国大会自由論題報告（福岡大学），2015年10月。
- 「《三区分イデオロギー》の社会的・経済的基礎—前5千年紀末，原インド・ヨーロッパ語族生成における遊牧開始の意義—」社会経済史学会第84回全国大会自由論題報告（早稲田大学），2015年5月。
- Product Development Performance in Context: The UK and Japanese Auto Industries. *The European Product Development Conference*. May 2002.
- Supporting Industries for Automobile Development in Japan before and after the blast of 'Bubble': Die, Mold and Welding Line Manufacturers. *6e Rencontre Internationale/GERPISA*. GERPISA, juin 1998.
- Special Tooling Industries in Japan after the Blast of 'Bubble': Die, Mold and Welding Line Manufacturers. *International Conference on New Development and Learning from Experiences in Different Industries and Countries/Wissenschaftszentrum Berlin fur Sozialforschung*. Wissenschaftszentrum Berlin fur Sozialforschung, March 1997.
- New Style of Rationalization in the Japanese Auto Industry After Extreme Appreciation of Yen. *4e Rencontre Internationale/GERPISA*. GERPISA, juin 1996.
- 「フランスにおける中小企業の現状と産業政策（研究報告会）」『国府台経済研究』千葉商科大学経済研究所，1996年11月。
- 「80年代フランス自動車産業のジャパナイゼーション—《労働価値》の世界から《市場価値》の世界へ—」日仏経営学会第27回全国大会，1996年5月。
- 「フランス中小企業金融の特質—中規模銀行の欠落と金融の『同質化』現象—」日本中小企業学会第15回全国大会，1995年10月。
- L'étude et le montage des composants de l'habitacle : la contribution des équipementiers : Comparaison entre Europe et le Japon. *Les plastiques et les composants de l'habitacle automobile/SFIP/SIA*, décembre 1994.
- Flexible Manufacturing for Mini-lot Production: Emergence of Mini-automakers in Japan. *2e Rencontre Internationale/GERPISA*, juin 1994.
- Special Tooling Industry in Japan. *Congress on Status and Trends of Special Tooling Industries*. November 1993.
- 「フランスの地方における通貨流通（1870年代-1914年）」土地制度史学会秋季学術大会（静岡大学），1982年10月。
- 「クレディ・モビリエ（1852-1867）—金本位制への挑戦と『アソシアシオン』—」土地制度史学会秋季学術大会（横浜国立大学），1977年10月。

2. 一般向け講演・ビデオ

演題	講演名	主催者	年月日
世界の長寿企業は、なぜ、日本に圧倒的に多いのか — 「人を育てる」日本型と「人を選別する」欧米型—	中央大学学術講演会	中央大学学会江戸川区支部	2019.10.19
同上	同上	中央大学学会北区支部	2018.10.20
同上	同上	中央大学学会岩手支部	2018.07.28
会社の人事：ひとを育てますか？ひとを選別しますか？	同上	中央大学学会沖縄県支部	2017.10.14
世界の長寿企業は、なぜ、日本に圧倒的に多いのか — 「人を育てる」日本型と「人を選別する」欧米型—	同上	中央大学学会愛媛県支部	2017.09.02
同上	同上	中央大学学会静岡中部支部	2017.08.19
同上	同上	中央大学学会高知支部	2016.11.12
同上	同上	中央大学学会郡山支部	2016.07.09
すべては6千年前、ユーラシアのステップで始まった — グローバリゼーションの起源を、初期遊牧に探る—	同上	中央大学学会山形支部	2015.11.14
台湾《日本語族》が、日本の若者にもたらすもの	同上	中央大学学会国立支部	2015.10.18
日本の自動車産業を支える現場の“やる気” https://youtu.be/FYJggvM_l5o	『知の回廊』	中央大学	2008

IV 自動車部品産業の実態調査

1. 競争的資金等の研究課題（研究分担者として参加）

「自動車産業におけるグローバル・サプライヤーシステムの変化と国際競争力に関する研究」基盤研究（A）、代表者：清响一郎（関東学院大学）、研究期間：2011-2016年。

「自動車産業における国際的再編がサプライヤーに与える影響に関する調査」基盤研究（B）、代表者：清响一郎（関東学院大学）、研究期間：2002-2005年。

「バブル経済崩壊期以後の自動車開発システムと開発支援型産業の調査研究」基盤研究（B）（2）、代表者：池田 正孝（中央大学）、研究期間：1998-1999年。

「円高以後における自動車サプライヤー・システムの構造変動に関する調査研究」基盤研究（B）（2）、代表者：池田 正孝（中央大学）、研究期間：1996-1997年。

「日独・組立型機械工業における生産・労働システムの比較研究」一般研究（A）、代表者：池田 正孝（中央大学）、研究期間：1992-1993年。

2. 主な海外調査 (国内調査は省略)

国	年月日	都市	対象企業
ドイツ	2015.08.30~09.08	ミュンヘン, シュトゥットガルトほか	VW, ダイムラーなど6社
メキシコ	2015.03.08~03.14	モンテレイ, サラマンカ	マツダ, 日系部品メーカーなど6社
台湾	2014.09.08~09.13	台中, 桃園	台湾電線など6社
ベトナム	2014.03.10~03.13	ハノイ	デンソーなど12社
タイ	2013.09.07~09.13	バンコク周辺	ホンダ, デンソーなど9社
インドネシア	2013.03.04~03.07	インドネシア各地	日系・現地メーカー8社
インド	2012.03.14~03.22	グルガオン, パンガロール	スズキ, トヨタなど6社
フランス	2012.02.22~03.03	フランス各地	日系メーカーなど5社
インド	2010.09.12~09.18	ニューデリーほか	マルチ・スズキなど7社
中国	2010.08.29~09.04	北京・長春・瀋陽	瀋陽金杯廣振汽車部件有限公司など7社
ベルギー・フランス・イギリス	2007.08.28~09.03	ザフエンテンほか	日系メーカー (トヨタ紡織・小糸・愛三など) 7社
イギリス・フランス	2005.09.04~09.21	バーミンガム, パリほか	三光合成など部品メーカー14社
イギリス	2004.09.01~09.19	バーミンガム, サンダーランドほか	英国日産など15社
ドイツ・チェコスロバキア	2004.03.15~03.26	ラシュタットほか, チェコ内各地	メルセデスベンツ, シュコダほか10社
イギリス	2004.03.3~03.15	バーミンガムほか	日系メーカー (オギハラ・東海理化・豊田合成・アイシン・小糸など)
フランス	2002.10.21~10.24	オネンほか	日系メーカー4社
中国	2002.08.25~08.31	香港・深圳・中山	日系・現地メーカー13社
イギリス	2001.01.22~02.01	バーミンガムほか	現地メーカー8社
イギリス	2000.08.29~09.13	オックスフォード, バーミンガムほか	日系・現地メーカー19社
ドイツ	1999.09.16~09.17	ヴォルフスブルクほか	VW ほか2社
イギリス	1999.08.30~09.15	イギリス各地	日産など13社
イギリス・フランス	1999.02.01~02.09	イギリス・フランス各地	日系部品メーカー8社
フランス	1998.05.28	ディジョン	パレオほか部品メーカー2社
ドイツ	1998.03.16~03.27	ドイツ各地	部品メーカー11社
ドイツ	1997.07.15~07.25	ドイツ各地	部品メーカー10社
ドイツ	1997.03.05~03.18	ベルリン, モーゼルほか	フォード, VW ほか部品メーカー10社
ドイツ	1996.09.18~10.02	ベルリン, レーゲンスブルクほか	メルセデス=ベンツ, BMW ほか部品メーカー11社
フランス	1996.06.17	モーゼル	ピストンメーカー1社
イギリス	1995.07.04~07.18	ウェールズ	部品メーカー14社
フランス	1994.12.02~1995.03.07	フランス各地	部品メーカー7社
ドイツ	1994.08.30~10.26	ドイツ各地	部品メーカー2社
イギリス	1994.07.14~07.18	イギリス各地	トヨタ, ホンダほか部品メーカー10社
フランス	1994.06.09	オールネ	ブジョー
フランス・ドイツ	1994.03.25~03.30	フランス各地・ゲルリンゲン(ドイツ)	ルノーおよび日系複写機メーカー5社
フランス	1993.05.12~12.23	フランス各地	日系電気・電子・自動車部品メーカー30社
フランス	1993.03.31~04.21	アルザスロレーヌ	日系電気・電子メーカー7社
ドイツ・フランス・イギリス	1992.03.12~04.09	インゴルシュタット, ウェールズほか	アウディおよび各地の部品メーカー25社
イギリス・フランス	1991.11.25~12.21	ウェールズ, フランス東部ほか	ブジョーおよび部品メーカー21社
フランス・イタリア	1989.09.11~09.22	フランス各地・トリノほか	ルノー, フィアット, ランボルギーニ, 部品メーカーなど8社
アメリカ合衆国	1989.08.28~09.05	ケンタッキーほか各地	トヨタおよび部品メーカー13社
フランス	1987.09.08~09.17	パリ近郊・各地域	ルノーおよび部品メーカー13社
フランス	1986.09.08~09.18	パリ近郊・東部地域	ブジョーおよび部品メーカー8社
フランス	1985.06	フラン (パリ近郊)	ルノー